



中期計画の各項目	評価項目 (平成17年度の計画の各項目)	指 標	実績 (記載事項)	自己 評価	分科会評価		評価理由
					指標	項目	
<p>(2)研究成果の普及</p> <p>国際的な学術誌への発表を奨励。</p> <p>研究活動に関する年次報告書の作成。</p> <p>各種メディア、講演会等を通じて一般社会に成果を紹介。</p> <p>知的財産保護のための管理体制の整備。</p> <p>国際ワークショップやセミナーの継続実施</p>	<p>(2)研究成果の普及</p> <p>先行的研究事業の活動に関する年次報告書を年度末までに作成し広く関係機関に頒布。ホームページでも英語及び日本語で公開。</p> <p>特許取得のためのシステムを構築。</p> <p>研究に関するセミナーや講義の継続実施。学術誌に掲載された研究成果や、国際研究集会等での発表実績について年次報告において報告。</p>	<p>・国際的な学術誌への発表状況</p> <p>・年次報告書の作成状況</p> <p>・メディア、講演会等を通じての成果発表の状況</p> <p>・知的財産保護管理体制の整備状況</p> <p>・国際ワークショップやセミナーの実施状況</p>					
<p>(3)研究者養成活動</p> <p>連携大学院制度を活用する等で学生の受け入れ指導。</p> <p>大学院レベルの研究者養成プログラム開始準備への取組み。</p>	<p>(3)研究者養成活動</p> <p>連携大学院制度の活用や共同研究プロジェクト等について、内外の大学及び研究機関との間で検討に着手。特に、博士課程の学生の将来的な採用を視野に入れつつ検討。</p> <p>平成18年4月開催の"Single Molecule Analysis (一分子解析)"に関するワークショップ及び同年7月に予定されている計算神経学に関するセミナー企画業務を完了。</p>	<p>・連携大学院制度による学生の受入れ状況</p> <p>・大学院レベルの研究者養成プログラム準備状況</p>					

中期計画の各項目	評価項目 (平成17年度の計画の各項目)	指 標	実績 (記載事項)	自己 評価	分科会評価		評価理由
					指標	項目	
<p>(4) 大学院大学設置準備活動</p> <p>大学院大学の教育研究分野・組織体制及び教員の人事制度についての考え方の明確化。</p> <p>大学院大学の学長及び主な役職員の候補者に関する調査の開始(平成19年度～)。</p>	<p>(4) 大学院大学設置準備活動</p> <p>運営委員会との共同のもと、大学院大学の在り方に関する検討を行うための外部有識者の候補を選定。</p> <p>運営委員会との共同のもと、今後の研究領域の検討を支援するための科学顧問グループの編成に着手。</p> <p>_____</p>	<p>・教育研究分野・組織体制及び教員の人事制度の確立への取り組み状況</p> <p>・学長及び主な役職員の候補者に関する調査の実施状況</p>	_____				_____
<p>(5) 施設整備</p> <p>恩納村における新施設設計計画の監督のための研究者からなる委員会を組織。</p> <p>プロジェクトマネージャー等の支援を得ながら施設整備を実施。</p>	<p>(5) 施設整備</p> <p>恩納キャンパスのうち旧白雲荘の改装作業を完了する。</p> <p>恩納キャンパス全体のデザインコンセプトを練り上げたマスタープランの策定を完了する。また、最初の建設対象となる施設のデザインを完了する。これらのマスタープラン及びデザインは機構のウェブサイト及び展示によって一般に公開する。</p>	<p>・新施設の準備状況</p> <p>(・基本設計の策定の状況)</p>					

中期計画の各項目	評価項目 (平成17年度の計画の各項目)	指 標	実績 (記載事項)	自己 評価	分科会評価		評価理由
					指標	項目	
2 業務運営の効率化に関する事項							
(1) 組織運営及び財務管理 管理運営業務の効率化。 財務管理の仕組みの構築 や各種規則の整備。 適切な給与体系の検討。 外部資金の獲得。  事務職員の専門能力を高めるための措置。	(1) 管理運営及び財務 効率的な管理部門のため、月例の業務運営委員会(MACO)及び代表研究者委員会(COPI)を開催する。財務管理部門の体制を整備するため、財務担当の責任者を任命し、毎月MACOに報告させる。  研究管理部門の機能を強化するため、研究管理担当の責任者を任命し、MACO及びCOPIに参加させる。  管理部門及び技術サポート部門のスタッフが、必要な研修を受けることができるようにする。  (2) 運営委員会関連 運営委員会に対して、平成18年初頭に予定されている第1回会合に向けた事務的支援及びロジスティック面での支援を行う。	・効率化への取り組み状況 ・財務管理の仕組みや各種規則の整備状況 ・給与体系の検討状況 ・外部資金獲得状況  ・事務職員の専門能力向上のための取り組み、研修の実施状況					

中期計画の各項目	評価項目 (平成17年度の計画の各項目)	指 標	実績 (記載事項)	自己 評価	分科会評価		評価理由
					指標	項目	
(2)活動評価 先行的研究事業の研究評価を行う特別委員会を設置(平成18年度~)。	8.活動の評価 運営委員会に年次報告書を提出し、評価を受ける。この年次報告書は、研究に関する年次報告書を含む。	・年次報告書の作成					
3 予算、収支計画及び資金計画 別紙のとおり	3 予算、収支計画及び資金計画 別紙のとおり	・自己収入の確保状況 ・一般管理費の節減状況 ・業務経費の節減状況					
4 短期借入金の限度額 上限10億円。		・短期借入金の借入状況					
5 重要な財産の処分等に関する計画 計画なし。		・重要財産の処分等の状況					
6 剰余金の使途 研究事業の充実及び研究環境の整備に充てる。		・剰余金の使用等の状況					

中期計画の各項目	評価項目 (平成17年度の計画の各項目)	指 標	実績 (記載事項)	自己 評価	分科会評価		評価理由
					指標	項目	
7 その他内閣府令で定める 業務運営に関する事項							
(1)施設・設備に関する計画 中期目標期間末に恩納村の 建設予定地で施設の供用を 開始することを目指して、施 設整備を計画的に進める。	「5.施設整備」のとおり。	・沖縄県恩納村の旧白雲荘改修 及び建設予定地造成工事の実施 状況					
(2)人事に関する計画 業務運営の効率化により、 常勤職員の増加抑制。  柔軟で機動的な人員配 置。  任期制職員を措置。		・常勤職員数の抑制状況、任期 制職員の任用状況等					
(3)積立金の処分に関する 事項 計画なし。	(3)積立金の処分に関する 事項 計画なし。	・積立金の処分状況					